

報道関係各位

日本産食品の輸出が大きく伸長している マレーシアに輸出支援プラットフォームを設置！

～イスラム圏におけるハラール対応等を推進～

今般、マレーシアに輸出支援プラットフォームを設置することに伴い、5月2日、現地の食品関連事業者等を集めた立上げ式が行われました。今後、輸出支援プラットフォームが中心となり、同国における更なる輸出促進に取り組むこととしています。



現地日系小売店の様子（日本産青果物）



現地日系小売店の様子（惣菜（天ぷら））



現地日系小売店の様子（和牛串）



マレーシア輸出支援プラットフォーム立上げ式

1. 背景

マレーシアは、日本産農林水産物・食品の輸出額実績が過去 10 年で約 3 倍となり、日本食レストラン数も大きく増加する等、日本産食品への人気が高まっています。また、マレーシアは ASEAN の中でも比較的高い購買力や良好なビジネス環境を有しています。

他方、マレーシア向けの輸出の一層の促進を図るためには、マレー系マーケットを視野に入れたハラル対応に加え、未開拓の現地商流へのアプローチを強化していく必要があります。

こうした課題に対処し、マレーシア向けに輸出を行う事業者等への支援を強化するため、今般、輸出支援プラットフォーム（※）を設置しました。

（※）輸出支援プラットフォームとは、ジェトロ海外事務所と在外公館等が主な構成員となり、日本産農林水産物・食品の輸出事業者や現地に進出している国内の食品関連事業者等を、現地発の視点で継続的に支援する枠組です。

2. マレーシア輸出支援プラットフォームの活動方針

マレーシア輸出支援プラットフォームでは、今年度、特に以下のような現地発の活動に重点を置いて取り組む予定です。

- ハラル市場への戦略的売り込みのための調査
- 現地バイヤーの日本への招へい
- 地方都市（ジョホールバル、ペナン等）の販路開拓に向けた現地事業者の発掘

3. マレーシア輸出支援プラットフォーム立上げ式について

5月2日、クアラルンプールにおいて、マレーシア輸出支援プラットフォーム設置に伴い立上げ式が開催され、高橋農林水産省大臣政務官、高橋駐マレーシア日本大使、森下ジェトロ農林水産食品部長、高野ジェトロ・クアラルンプール事務所長に加え、現地の日本食品関係事業者、アーサー・ジョセフ・クルップ農

業・食料安全保障副大臣ほかマレーシア政府関係者等、合計約 120 名が出席しました。

(参考リンク)

輸出支援プラットフォーム HP

[農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム | 農林水産物・食品の輸出支援ポータル - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](https://www.jetro.go.jp/portal/01/01_01.html)



輸出・国際局国際地域課海外連携グループ

担当者：大川、三島

代表：03-3502-8111（内線 3511）

ダイヤルイン：03-3502-8058